

謹賀 新年

清々しい新春を迎え、謹んで新年のお慶びを申し上げます。

昨年は、新市誕生から20年の節目となる中で、人口減少局面に備えた市内21の地域づくりや山口・小郡両都市核づくりをはじめとした、一連のまちづくりにおける社会基盤整備が概ね仕上がる年となりました。

このような中、迎える本年は、私の2期目の実質的なスタートの年であることから、こうした取り組みと同時に、3つの視点を踏まえた「新たなまちづくりモード」をスタートさせてまいります。

1点目は、都市全体の「元気を上げる」ことです。

これは、一定程度の人口減少が避けられない中であっても、市民一人一人、地域、そして事業者の皆様の、それぞれの活動量や活動の質が上がるような取り組みを進めることで、地域の活力や経済活力を向上させ、トータルとしてまちの活力を保っていくという方向性です。

2点目は、「選ばれるまち」になるという視点です。

これは、本市が持つ、他の都市や地域と異なるユニークさを伸ばし、個性や特長を際立たせながら、地域資源や都市の魅力を更に引き出していくことで、選ばれるまちにしていくという方向性です。

10月の山口デスティネーションキャンペーンでは、歴史文化をはじめとした本市固有の魅力を発信し、関係者の皆様とともに、盛り上げてまいります。

3点目は、「まちをスマートに」という視点です。

これは、デジタル技術なども柔軟に活用し、市民が暮らしやすく、持続可能なまちづくりを進めていくという方向性です。

本年が皆様にとりまして、幸多い年となりますことを祈念いたしまして、新年の御挨拶といたします。



山口市長 伊藤 和貴



山口市議会議員
入江 幸江

令和8年の年頭にあたり、市議会を代表いたしまして謹んで新春のお喜びを申し上げます。

昨年を振り返りますと、5月には新本庁舎が供用開始となり、市議会も新たな議場での定例会を緊張感とともに迎えました。

また、9月にはホノルル市と友好都市提携を結び、さらに、10月には新市誕生20周年を記念した事業の一環として、『地球の歩き方 山口市』が発刊されるなど、本市への注目が一層高まり、本市の魅力を市内外に発信する機会となった一年でございました。

一方で、物価高騰や人口減少、多様化する価値観など、社会環境は大きく変化を続けております。本市におきましても、都市も農山村もともに元気なまちづくりを進める中で、こうした変化に迅速に対応していくことが求められております。

そのためには、これまで取り組んでまいりました社会基盤の充実を土台として、誰もが安心して暮らし続けられる地域づくりを進めていくことが、今後の持続可能なまちの発展にとって重要であると考えております。

市議会といたしましても、市民の皆様のお声に真摯に耳を傾け、地域の特性を生かした地域づくりや、子どもたちの未来を見据えた政策提言を行ってまいります。そして、さらに開かれた議会を目指し、より透明性の高い議会運営に努めてまいりますので、引き続き、御支援を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、新しい年が市民の皆様にとりまして、健やかで希望に満ちた一年となりますことを心から御祈念申し上げまして、新年の御挨拶といたします。